

ワケ カタチには理由がある(番外編3)

Shape follows
Function & Taste

~C-3902 ガビアーノ(Gabbiano)飛行艇



スケールアヴィエーション誌
Vol.10(1999年11月)



本機、スイス空軍の C-3902 ガビアーノ飛行艇は、筆者オリジナルのフェイク機です。ジブリ映画『紅の豚』公開時(1999年)、主人公ポルコの乗る機体、サボイア飛行艇をファインモールド社が 1/72 でリリースしたのですが、その際開催されたスケールアヴィエーション誌の「サボイアコンテスト」に応募した作品です。「水上戦闘機の時代は終わっていたが、多くの湖を有するスイスはその地形を活かすために水上戦闘機を開発した。過去製作されたサボイア水上戦闘機をライセンスしてアップデートした機体」という設定でした。スイス空軍がフランスの MS.406 戦闘機をベースに C-3802 を開発した、という史実をヒントにしたものです。このコンテストでは、銀賞を受賞させていただきました。なお、Gabbiano はイタリア語でカモメのことです。

【模型について】

ファインモールド社(Fine mold)製 1/72 のサボイア戦闘機をベースに、胴体側面のボリュームを増積し、エンジンプロックはハセガワ Do520 の機首を切断して整形したものに換装しています。また、翼をガル翼に変更し、ラジエータを翼下に移転しています。台車はハセガワ強風のもの、トラクターは出来合いの 1/76 の鉄道模型用のもの。画像は自作デカルの一部です(我ながら物持ちが良いw)。(中川裕幸 2021年10月)

